

発行/モザイク会議 議長 森敬美

モザイク会議事務局：〒185-0012 東京都国分寺市本町 4-12-4 司アートシティ 104

モザイク会議ホームページ：http://www.maa-jp.com/ Email:maa@maa-jp.com

編集/作成：モザイク会議運営委員会

2019 年度定時総会開催



4月21日(日)、渋谷勤労福祉会館
出席者数19名、委任状18通でした。

議題

①モザイク展 2019 の審査員について

候補者3名が挙げられました。すべて女性

1. 美術評論家
2. フランスのモザイクマガジン編集長
3. オーストラリアの作家

1. を第一候補として交渉することとしました。
それが不調のばあい、海外からの審査方法について検討する運営委員会を5月25日(土)国分寺のモザイク会議事務局で16時45分から行うことになりました。興味のある方は出席自由です。

②あざみ野2階会場の使用方法について
出品者には無料で空間を提供します

- モザイク教室の宣伝、教室展など
- ワークショップの開催
- プロジェクターでモザイク作品の紹介
- 個展、グループ展③絵具会社サカベの工場見学(朝霞市)

会員の今野栄子氏が希望者を引率

④フェイスブックのモザイク会議のページにもっと投稿してもらいたい、モザイク通信にもっと壁画新作情報を載せてもらいたいなどの意見が出されました。

⑤昨年出された、法人化についての検討結果は総会で報告しましたが、次ページに概要を記しました。そちらをご覧ください。

あざみ野会場2階の使用希望、あるいは絵具工場見学の希望者はメールをください。
メールアドレスは maa@maa-jp.com

展覧会のスケジュール確認

○「モザイク展 2019」の会員の出品申し込みは8月10日までです。申込用紙送付と一緒に出品料 10000 円の振込をお願いします。振込先は申込書に記してあります。

ちなみに一般公募の写真審査締め切りは7月15日です。

○あざみ野で10月2日から7日まで開かれた後、東京北青山のオリエアートギャラリーで10月10日から22日まで海外作家とあざみ野の受賞作ほか数点の展示が行われます。

○その後、多治見のモザイクタイルミュージアムで2020年1月半ばから海外作家と受賞作ほか数点の展示が行われます。こちらは詳細の日程は未定です。

○あざみ野での展示の際の授賞についての変更。海外作家も賞の対象になると募集要項に記しましたが、海外作家は賞の対象から外すことになりましたのでお知らせします。

モザイク会議の法人化について

去年の総会でモザイク会議を法人にすれば、便利なこともあるのではないかと質問がありました。それについて、調べた結果を今年の総会で説明しました。

法人化する利点は信用度が上がることから補助金申請や施設使用には有利だと思います。一方そのために、法人申請をするための手続き、経費、毎年の会計報告などの手間が増えます。手間や経費と利点を比べて、どうも法人化しないほうがよさそうだという意見にまどまりましたので、お知らせします。詳細については、連絡を頂ければ、プリントにまとめた資料をお送りします。

新入会員紹介



瀧山一弘

エーティ・ファクトリー株式会社 代表取締役

父がタイル施工会社を経営しておりましたので、子供の頃からタイルは身近な存在でした。ミュージシャンを目指していた23歳頃、欧州放浪の旅で出逢ったガウディ建築のタイルの使い方に衝撃を受け、ローマン&ビザンティンモザイクに心を奪われました。その後、父の遺志を継ぎタイル業に転身。以後、タイルモザイク探究の旅が始まりました。作品製作はしておりませんが、みなさま、よろしくお願いたします。



濱田麻里

この度はモザイク会議に入会させて頂き、とても嬉しく思っております。今までは一般枠で2013、2017年のモザイク展に出品させて頂きました。これから一層お世話になりますが、どうか宜しくお願致します！

新会計紹介・・・島忠康さんに新しく会計係として運営委員会に加わってもらうことになりました。

年会費 12000 円の振込口座はこちらです。

ゆうちょ銀行 振替口座：記号 10000 番号 97185511 名義：モザイクカイギ

ほかの金融機関から振り込みのばあいには以下の内容になります。

店名 008 (ゼロゼロハチ) 店番 008

普通預金 9718551

モザイク壁画の保存

五反田「ゆうぼうと」のばあい

記・宮内淳吉



今回保存した大理石モザイク「音の壁」

1978年郵政省「現/日本ゆうせい」で計画された「ゆうぼうと」「設計丸の内建築事務所」の建築装飾の依頼をうけました。

中には簡易保険ホール、ホテル、宴会場の施設がある建物です。

私が担当したのはホールのプレスコ壁画「2m×7m」2面、モザイク壁画2面「2m×4m」、宴会場プレスコ壁画「2.2m×4m」の5ヶ所で1980年から1年間現場で制作しました。2015年に営業中止になり、35年間の終止符を打つ事になりました。



もう一点あったガラスモザイク作品保存せず

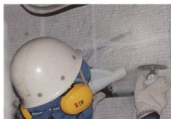


左・はがす前にモザイクの洗淨

下・パネルを切断して
少しずつはがしていく

置友彫刻家中野滋氏等の支援で先ず宴会場の丸いフレスコ壁画をストラップして奈良のかんぼのやどに移設することができました。

大きな2面のフレスコ壁画は無理としてその横にある大理石モザイクはということで、中野滋氏をはじめにモザイク会議の橋村氏、戸祭氏、芦田氏らが参加してくれて支持体ごと直線的な切り方でチャンネル（金属の特組み）から引き離しました。壁画を施工してからそれを如何に保存することができるのか？ということに反省を込めて思案にくれた数年間でした。



はがし終わったパネル

(写真 戸祭玲子)

海外招待作家十人の紹介



Gerard Brand
ジェラルド・ブラン
フランス
参考写真



Clemente Miteran
クレマン・ミッテラン
フランス
参考写真



Scuola Mosaicisti del Friuli
フリウリモザイク学校
イタリア
この作品は出品作です。



Tatyana Dubfscaya
タチアナ・ドゥブスカヤ
ロシア
参考写真



Wendy Edward
ウェンディ・エドワード
オーストラリア
参考写真

海外招待作家十人の紹介



Sergio Pollicchio
セルジオ・ポリチックオ
イタリア
この作品は出品作です。



Orode Deoro
オローデ・デオーロ
イタリア
参考写真



Takako Hirai
平井能子
ラヴェンナ在住
参考写真



Matylda Trasewska
マチルダ・トラセウスカ
ポーランド
参考写真



Rachal Brenner
レイチェル・ブレナー
オーストラリア
参考写真